

## 認知症当事者がマスターとなって働く マスターズ Cafe の運営

### 実施までの経緯

阪南市では、以下の思いやニーズが上がった

1. 認知症当事者から「毎日行くところがなく、図書館に通っている」
2. 図書館から「認知症になった時に役立つ情報や資料を図書館にもあることを知ってもらいたい」
3. 市役所の生涯学習課（現：生涯学習推進室）から「キッチンのある空きスペースで継続的な交流の場を作りたい」
4. 介護者（家族）の会に所属する人から「自身の経験を活かして、カフェのような誰でも集える場所を作って、悩んでいる人の話を聞いてあげたい」

これらのニーズを認知症当事者を含む関係者で話し合い、「認知症にやさしい図書館」を作りあげるという目標のもと「知る、学ぶ、つながる」の三つのプロジェクトを立ち上げ、「つながる」プロジェクトとして「マスターズ Cafe」を実施することとなった。

### 開始

2018年10月に大阪府阪南市役所横にある文化センター「サラダホール」の空きスペースを使用して「マスターズ Cafe」を開始。

運営主体は認知症当事者とその家族

- 現在のマスターは6名
- 認知症地域支援推進員と地域住民、支援者（家族の会など）、就労支援事業所、認知症サポーターがカフェの運営をお手伝い。
- 南海尾崎駅から徒歩5分
- 2022年10月「マスターズ Cafe200回記念イベント」を実施
- 毎月、第2・4週の火曜日と毎週木曜日 13:30~15:00



## 当日の流れ

- 13:00~13:30 準備設営
- 13:30~15:00 カフェ開店  
認知症当事者がマスターとなり、注文を受けたり、ドリンクの配膳などを行う。
- 15:00~16:00 振り返りと情報共有  
当日の売り上げ状況確認や、今後の運営やイベントスケジュールについても確認。マスターたちが当日働いてみた感想などもここで語り合う。



## カフェで行っていること

- ★認知症の当事者や家族の方の居場所づくり
- ★カフェでの団らん ★認知症の当事者の役割づくり
- ★認知症の相談 ★支える家族の相談